



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 31 年第 4 週 (1/21~27) 【概要版】

平成 31(2019)年 1 月 30 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) インフルエンザは、**警報**発令中です。5 保健所管内では先週と比べて減少しました。インフルエンザによる入院は、過去5年の同時期と比べて非常に多く報告されています。報告数が多い時期ですので、継続的な手洗い・咳エチケット等を心掛けてください。
- (2) 感染性胃腸炎は、6 保健所管内で増加しました。県内全域にノロウイルス食中毒注意報 [1/24(木)-2/13(水)]が発令されています。
- (3) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 6 保健所管内で増加しました。

2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ	39.79	57.02	45.44	警	○		警	警	警	警	注	警	警
感染性胃腸炎	5.39	4.72	7.10		○		多	↑		多	↑	↑	↑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.97	1.48		○		↑		↑	多	↑	↑	多

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線; 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
インフルエンザ	53.91	57.02	46.09	51.17	<u>65.66</u>	<u>62.10</u>	49.01
感染性胃腸炎	<u>6.54</u>	4.72	<u>6.82</u>	<u>7.18</u>	<u>8.09</u>	3.45	<u>5.62</u>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.06</u>	0.97	<u>1.91</u>	<u>1.60</u>	<u>2.68</u>	<u>1.09</u>	<u>1.40</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県						保健所別					
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	3	2	2			2						
四類	レジオネラ症	1	1	1	○	○		1					
五類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	1	○			1					
五類	アメーバ赤痢	0	0	1	○		1						
五類	梅毒	1	1	1	○	○			1				
五類	百日咳	4	4	1	-	-							1

- i. 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 31 年第 4 週 (1/21~27) 【詳細版】

平成 31(2019)年 1 月 30 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- (1) インフルエンザは、**警報**発令中です。5 保健所管内では先週と比べて減少しました。インフルエンザによる入院は、過去5年の同時期と比べて非常に多く報告されています。報告数が多い時期ですので、継続的な手洗い・咳エチケット等を心掛けてください。
- (2) 感染性胃腸炎は、6 保健所管内で増加しました。県内全域にノロウイルス食中毒注意報 [1/24(木)-2/13(水)]が発令されています。
- (3) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 6 保健所管内で増加しました。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) ^{i, ii, iii, iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県					保健所別 (iv)						全国 (前週) (iv)	基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根		長 浜	高 島	警報 開始	警報 終息
インフルエンザ (定点数:52)	インフルエンザ	39.79	57.02	45.44	警	○	65.30	33.50	55.86	55.13	29.71	29.71	42.33	53.91	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.32	0.09	0.13			0.17	0	0.25	0.40	0	0	0	0.36	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.06	0.03	0			0	0	0	0	0	0	0	0.27	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.97	1.48		○	1.00	1.33	0.75	3.00	0.75	0.75	4.00	2.06	8	4	—
小児科 (定点数:31)	感染性胃腸炎	5.39	4.72	7.10		○	13.33	3.17	4.75	11.20	4.00	4.50	6.00	6.54	20	12	—
	水痘	0.19	0.25	0.16			0.17	0.17	0.50	0.20	0	0	0	0.27	2	1	1
	手足口病	0.13	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.17	5	2	—
	伝染性紅斑	0.06	0.09	0.16		○	0.33	0.17	0	0	0.25	0.25	0	0.88	2	1	—
	突発性発しん	0.10	0.06	0.10			0	0	0.25	0	0.50	0	0	0.31	—	—	—
	ヘルパンギーナ	0.03	0	0.03			0	0	0	0	0	0	0.50	0.01	6	2	—
	流行性耳下腺炎	0.06	0.03	0.06			0	0.17	0.25	0	0	0	0	0.09	6	2	3
	眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.00	1	0.1	—
		流行性角結膜炎	0.50	0	0.13			0	0	1.00	0	0	0	0.65	8	4	—
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0.14	0	0.14		○	1.00	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.23	—	—	—	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.06	—	—	—	
	インフルエンザ (入院例に限る)	2.57	6.14	8.29		○	○	9.00	5.00	0	3.00	0	30.00	11.00	6.64	—	—

ⁱ 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ⁱⁱ 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

ⁱⁱⁱ 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)

^{iv} **赤字斜字** :警報開始基準値を超過、**紫字斜字** :注意報基準値を超過

4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	2363	10	34	112	110	121	131	138	124	148	116	95	285	108	129	150	176	93	93	80	110
大津市保健所	653	4	6	18	24	28	20	42	30	37	27	33	74	37	42	52	67	38	24	14	36
草津保健所	335	-	5	16	15	15	16	10	16	26	20	9	57	15	17	17	25	16	20	10	10
甲賀保健所	391	1	9	29	34	28	36	17	13	16	17	13	47	16	18	23	23	10	19	14	8
東近江保健所	441	4	9	24	28	27	26	43	43	51	35	22	59	10	9	11	15	5	9	3	8
彦根保健所	208	1	4	12	1	8	16	12	6	6	5	5	28	6	16	16	13	11	8	14	20
長浜保健所	208	-	-	9	4	7	9	8	9	10	6	5	10	14	19	23	19	13	7	19	17
高島保健所	127	-	1	4	4	8	8	6	7	2	6	8	10	10	8	8	14	-	6	6	11

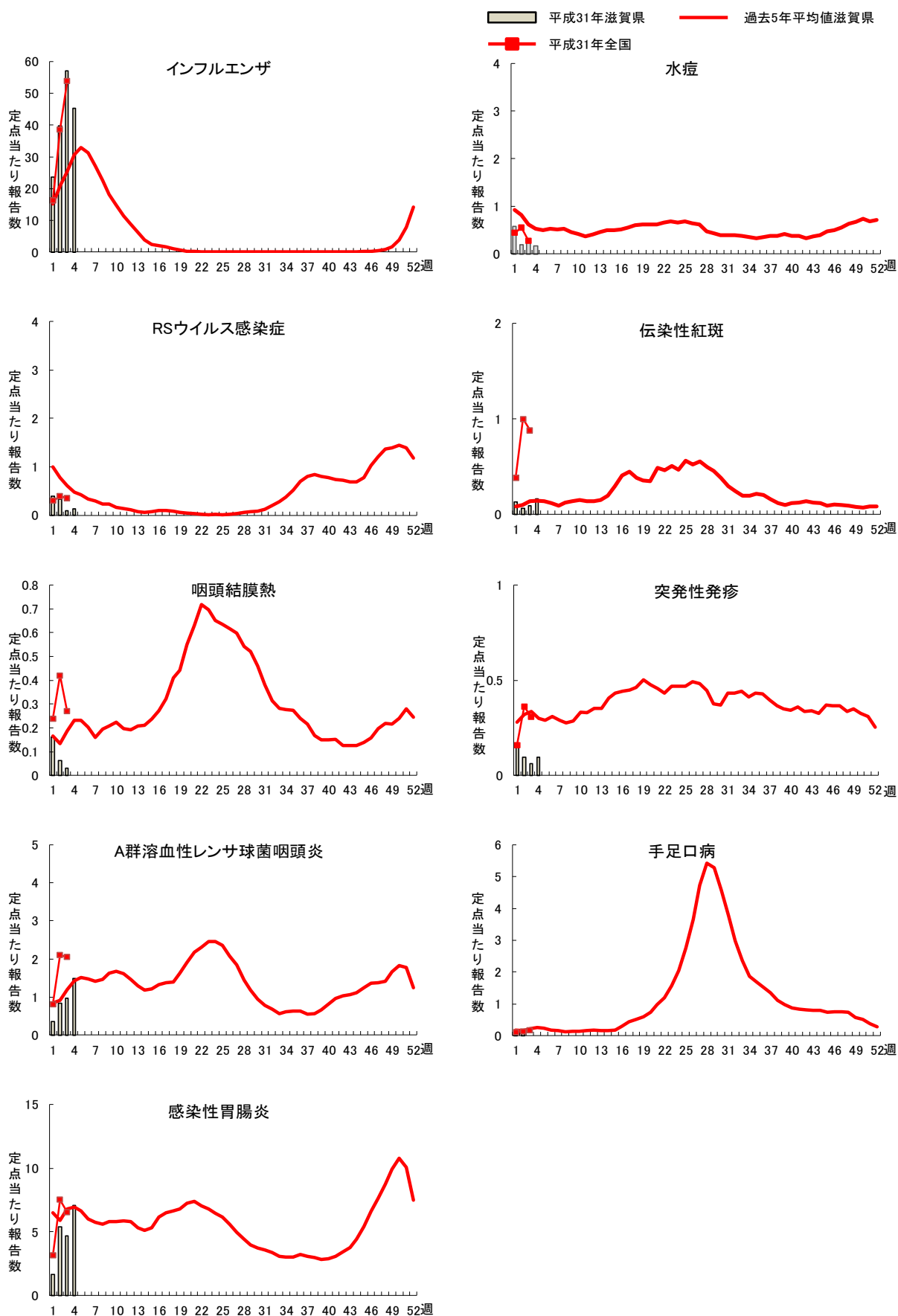
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	46	-	-	1	2	7	7	4	7	4	3	4	3	1	3
感染性胃腸炎	220	2	8	36	24	18	33	21	7	12	6	7	13	6	27
水痘	5	-	-	-	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	5	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	1	1	-	-
突発性発しん	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

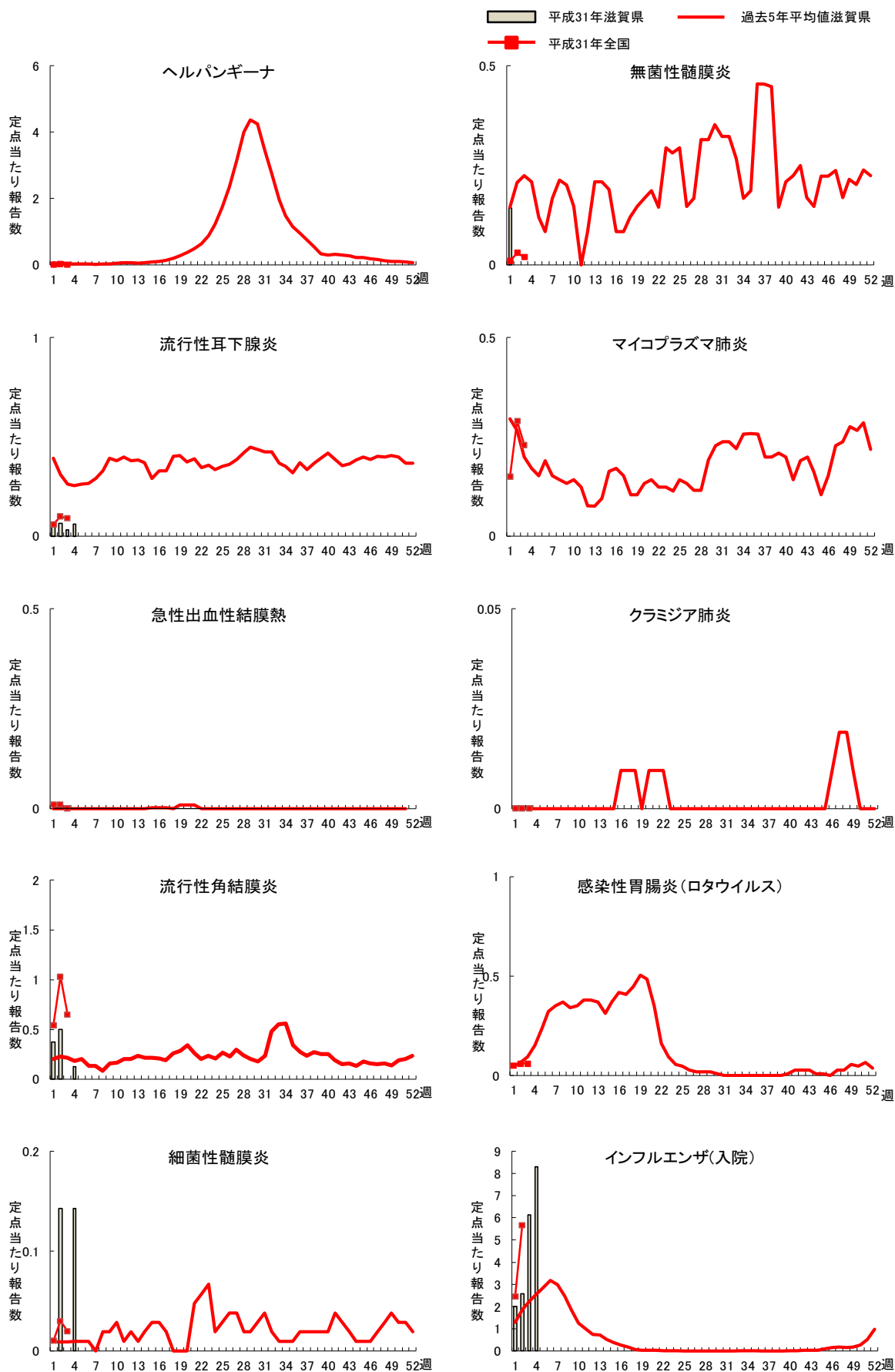
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	04	大津市	50歳代	男	肺結核	県内	-
	結核	04	大津市	80歳代	女	肺結核	-	-
四類	レジオネラ症	04	草津	90歳代	女	肺炎型	草津保健所管内	-
五類	アメーバ赤痢	04	大津市	60歳代	男	腸管アメーバ症	国外	-
	急性脳炎	03	草津	10歳未満	男	-	草津保健所管内	病原体不明
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	04	草津	50歳代	男	-	草津保健所管内	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	03	長浜	60歳代	女	-	長浜保健所管内	ワクチン接種歴なし
	梅毒	03	大津市	20歳代	女	無症状病原体保有者	県外	異性間性的接触
	梅毒	04	東近江	30歳代	男	早期顕症梅毒(I期)	東近江保健所管内	同性間性的接触
	百日咳	04	高島	10歳未満	女	-	県外	ワクチン接種歴なし

注目すべき感染症

1. インフルエンザ

- (1) インフルエンザの警報の発令について(滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/eh00/20190117.html>
- (2) インフルエンザとは(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>
- (3) インフルエンザウイルス分離・検出状況(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>
- (4) 抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランス(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/influ-resist.html>
- (5) Detection of influenza A(H3N2) viruses exhibiting reduced susceptibility to the novel cap-dependent endonuclease inhibitor baloxavir in Japan, December 2018 (Eurosurveillance Volume 24(3))
<https://www.eurosurveillance.org/content/10.2807/1560-7917.ES.2019.24.3.1800698>

2. 感染性胃腸炎

- (1) ノロウイルス食中毒注意報について(滋賀県健康医療福祉部生活衛生課)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/shoku/shoku/02tyudoku/noro-tyuihou.html>
- (2) ノロウイルス関連情報(国立医薬品食品衛生研究所)
<http://www.nihs.go.jp/fhm/fhm4/fhm4-nov001.html>

3. 風しん

- (1) 風疹急増に関する緊急情報(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/rubella-top/2145-rubella-related/8278-rubella1808.html>
- (2) 風しん抗体検査について(滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/imuyakumu/huusin/huusinkoutaikensa.html>

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(平成 31 年、全国は前週までの値) vi,vii

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			10 0.71	5 1.47	0 0	0 0	2 0.87	1 0.64	1 0.65	1 2.06	723 0.57	235 16.63	21850 17.21
三類 細菌性赤痢			0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	268
腸管出血性大腸菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	58	30	3844
四類 E型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	17	2	442
A型肝炎			1 0.07	0	1 0.29	0	0	0	0	0	46 0.04	1 0.07	925 0.73
重症熱性 血小板減少症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	77
チクングニア熱			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
つつが虫病			0	0	0	0	0	0	0	0	25	1	455
デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	201
日本紅斑熱			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	303
レジオネラ症	○	○	3 0.21	0	1 0.29	0	0	0	2 1.29	0	77 0.06	33 2.34	2130 1.68
五類 アメーバ赤痢	○		1 0.07	1 0.29	0	0	0	0	0	0	27 0.02	5 0.35	838 0.66
ウイルス性肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	269
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	90	11	2253
急性弛緩性麻痺	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	139
急性脳炎	○		1 0.07	0	1 0.29	0	0	0	0	0	68 0.05	4 0.28	657 0.52
クリプトスポリジウム症			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
クロイツフェルト・ヤコブ病			0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	219
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	○	○	2 0.14	0	0	0	2 0.87	0	0	0	49 0.04	10 0.71	687 0.54
後天性免疫不全症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	22	10	1292
ジアルジア症			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	68
侵襲性 インフルエンザ菌感染症	○		1 0.07	0	1 0.29	0	0	0	0	0	45 0.04	7 0.50	483 0.38
侵襲性髄膜炎菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	37
侵襲性肺炎球菌感染症			3 0.21	1 0.29	1 0.29	0	0	0	1 0.65	0	249 0.20	41 2.90	3299 2.60
水痘(入院例)			0	0	0	0	0	0	0	0	20	5	461
先天性風しん症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒	○	○	3 0.21	1 0.29	0	0	1 0.44	0	1 0.65	0	200 0.16	24 1.70	6923 5.45
播種性クリプトコックス症			0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	178
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	130
バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性 腸球菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	79
百日咳	-	-	7 0.50	5 1.47	0	0	0	0	0	2 4.11	688 0.54	141 9.98	11947 9.41
風しん			0	0	0	0	0	0	0	0	207	12	2917
麻しん	○		1 0.07	0	0	1 0.69	0	0	0	0	67 0.05	1 0.07	282 0.22
薬剤耐性 アンネトバクター感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	24
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.02

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

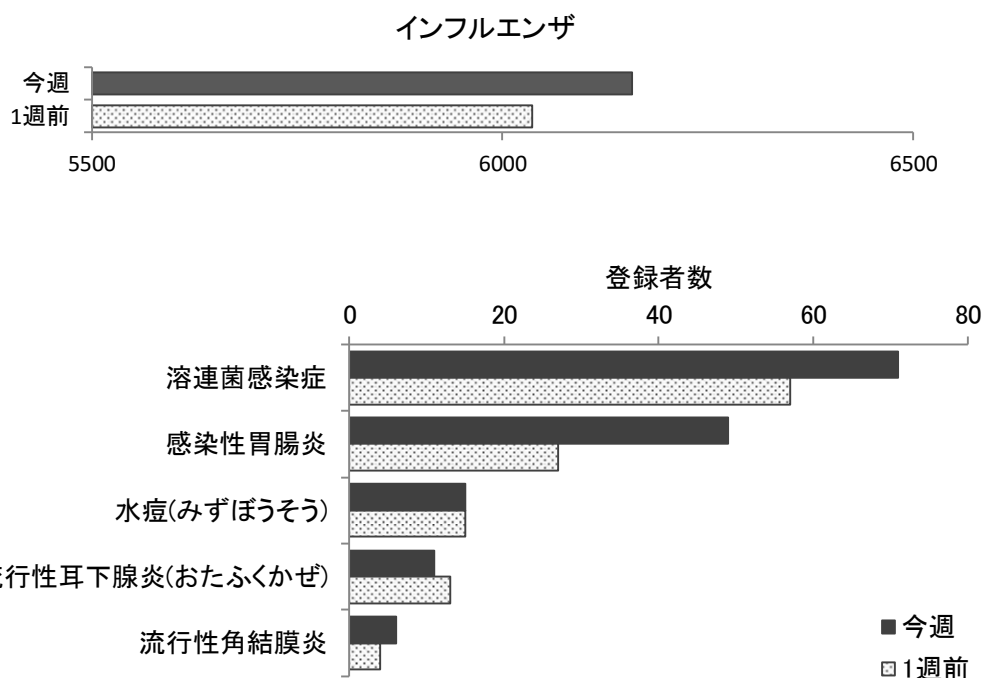


図. 学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)において登録数の多い疾患
横軸:登録数

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

- 感染症発生動向調査 週報(IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>
- 病原微生物検出情報(IASR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>
- インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

- 感染症法に基づく医師の届出のお願い
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jiryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

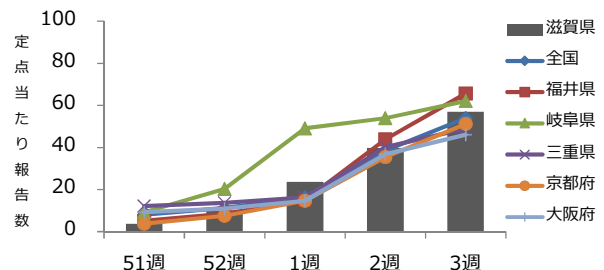
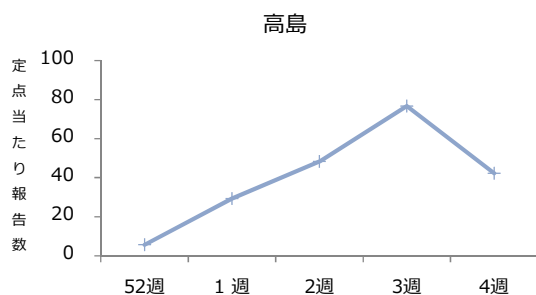
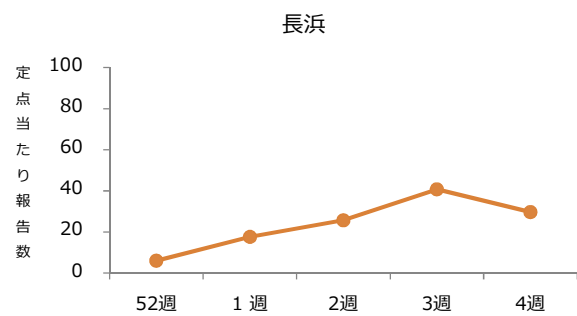
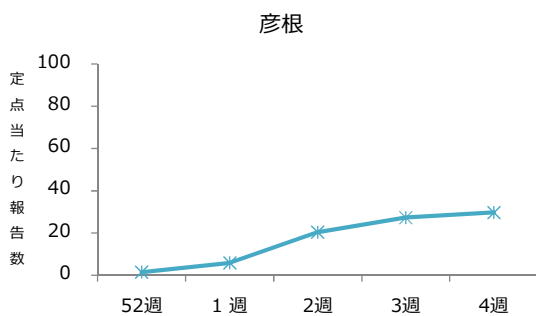
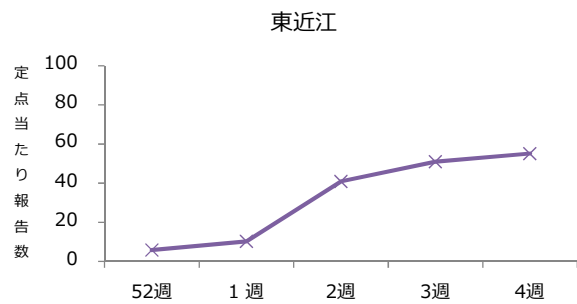
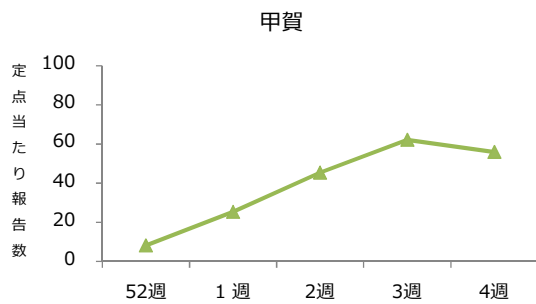
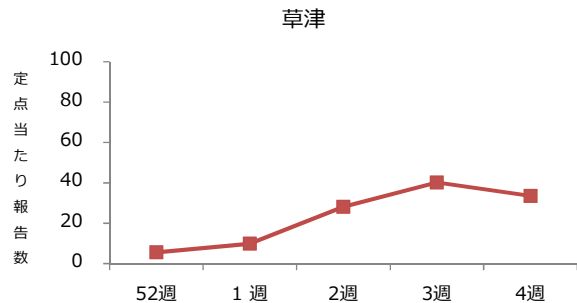
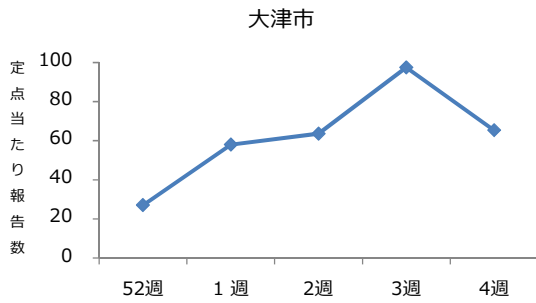
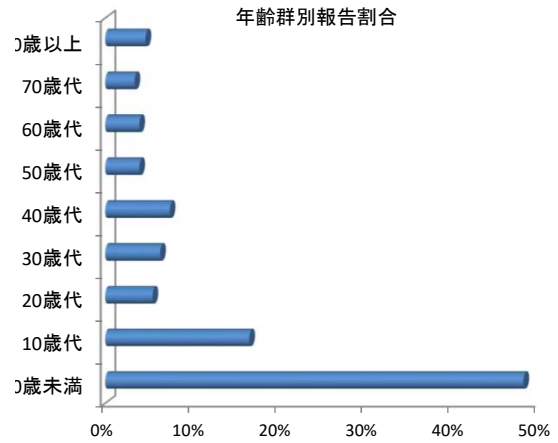
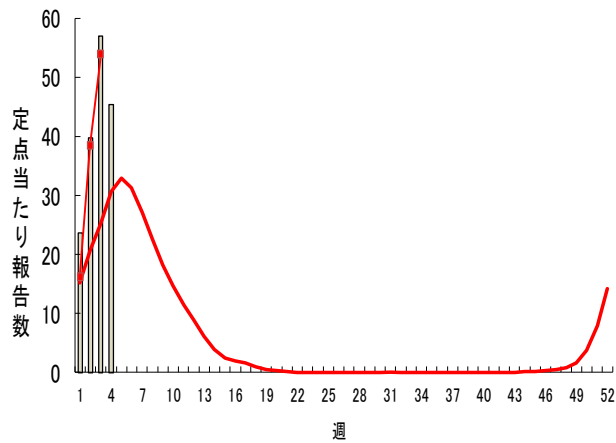
本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/ef45/kansen-c/index.html>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

インフルエンザの発生動向 平成31年4週 滋賀県



本図は先週までのデータにより作成しています。